PT・OTによる支援（助言）

本校職員がＰＴ（理学療法士）・ＯＴ（作業療法士）から、授業で用いる教材、補助具の使い方や、授業での支援の仕方についてアドバイスを受け、日々の授業づくりに生かしています。（今年度は、ＰＴ３名、ＯＴ１名から支援を受けています。）

◇教師への助言内容

（１）授業づくりへのアドバイス

・ 児童生徒の実態把握、児童生徒の課題の適合性、教材の使い方、児童の評価、教師の支援への助言

（２）ポジショニング（姿勢）についてのアドバイス

・ 学習机、車いすの高さ等の調整

・ トライウォール（厚いダンボール）でのいすや机の製作

（３）摂食についてのアドバイス

・ 食べるときの姿勢、座位保持いすの調整等への助言

・ 摂食評価（食物形態や食物の取り込み方への助言）

（４）職員研修会、保護者研修会の講師

（車いすの高さの調整に対する助言）

◇ＰＴ・ＯＴによる支援の利点

（１）より良い授業へ改善できる

授業における児童生徒の姿勢や動作課題について、場面をとらえて具体的にアドバイスしてもらえる。

（２）指導の改善が速やかにできる

疑問が生じたとき、すぐに質問や相談ができる。

◇ＰＴ・ＯＴとの連携方法　～短期的マネージメントサイクルでのＰＴの活用例～

【 教師 】	【ＰＴ支援】
ＰＬＡＮ（計画）・ 課題表を記入する ・ ＰＴとミーティングをする（必要に応じて）	・ 実態把握 ・ 課題設定の適合等の確認
ＤＯ（実践） ・ 授業を実践し助言をうける ・ 支援記録を記入する ・ 得た助言を授業作りに生かす	・ 授業参観 ・ 具体的な支援課題に関する助言（詳しくは上記の助言内容参照）
ＣＨＥＣＫ（評価）・ ＰＴとミーティングをする　・ 授業や課題を振り返る	・ 児童生徒の評価 ・ 教師の支援への助言 ・ 授業改善に関する助言
ＡＣＴＩＯＮ（次時へむけて） ・ 授業者間でミーティングをする ・ よりよい授業実践に向けて、新たな課題意識をもつ	・ 支援記録など、文書上の助言記録の活用